

報道関係 各位

【発行のご案内】

明日の国際保健医療協力 magazine

最新号 『NEWSLETTER』 vol.18/2023**特集 子宮頸がんのない未来をつくる**

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、“明日の国際保健医療協力 magazine”の最新号として『NEWSLETTER』 vol.18/2023 を発行しました。



『NEWSLETTER』は、グローバルヘルス、国際保健医療協力の潮流やキーワード、国際医療協力局の活動のご紹介を通じて、グローバルヘルスと国際保健医療協力の実際についてご理解をいただく広報誌です。2010年の創刊以来、今回で通算第35号の発行となります。



最新号の特集は「子宮頸がんのない未来をつくる」です。

女性特有のがん「子宮頸がん」は、ワクチン接種と検診によって予防と早期発見・治療が可能な病気です。しかしながら、世界における新規罹患者数は年間60万人、死亡者数は34万人にのぼり、その9割は低中所得国で暮らす女性たちです。いま、この健康格差をグローバルヘルスの課題として解決しようと、国際社会は子宮頸がん排除に向けて協力して取り組んでいます。

子宮頸がんのない未来をつくる——それは、この病気によって人生の選択肢が狭められることなく生きられる女性を増やすことにつながる取り組みです。



NCGM 国際医療協力局は「取り残されがちな人々（女性と子どもを含む）の健康」を重点的に取り組む5つのテーマ・事業領域のひとつとして様々な活動をしています。低中所得国に暮らす女性は、まさに「取り残されがちな人々」です。脆弱な医療へのアクセスが、予防ができ、早期発見によって治癒も可能な病気であるにも関わらず、子宮頸がんによる死亡例の約90%が低中所得国で発生していることに大きく関係しています。子宮頸がんの排除は、UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）を実現し、“誰一人取り残さない” SDGs時代の社会を目指す上で、極めて重要な課題であると考えています。

『NEWSLETTER』 VOL.18/2023 の概要は、以下の通りです。

『NEWSLETTER』 vol.18/2023

特集 子宮頸がんのない未来をつくる

- 仕 様 : A5 サイズ、24 ページ、カラー印刷
- 発 行 日 : 2023 年 3 月 31 日
- 発 行 者 : NCGM 国立国際医療研究センター 国際医療協力局
- 内 容 : ◎国際医療協力局の「長期戦略と重点テーマ」を紹介します
◎特集 子宮頸がんのない未来をつくる
・女性の命と健康を脅かす「子宮頸がん」って何だろう
・グローバルヘルスと子宮頸がん
mini コラム/
オーストラリア：世界でいち早く子宮頸がんの排除を実現できそうな国
・グローバルヘルスから見た日本の取り組み
mini コラム/Teal Blue Japan キャンペーン
・Global Health Project Story カンボジアの女性を子宮頸がんから守る
mini コラム/グローバルヘルスの世界で活躍する専門家
◎国際保健医療協力の専門家のキャリアパス グローバルヘルスへの道
NCGM 国際医療協力局/医師 春山 怜
◎EVENT INFORMATION



『NEWS LETTER』 VOL.18/2023

《ご参考》 『NEWS LETTER』 発行リスト

	発行号	特 集
1	2023年vol.18 (最新号)	子宮頸がんのない未来を作る
2	2022年vol.17	グローバルヘルスと「移民の健康」
3	2022年vol.16	ポストコロナへ - 国際保健医療協力の新たな取り組み
4	2021年vol.15	日本の中のグローバルヘルス
5	2021年vol.14	看護職とグローバルヘルス
6	2020年vol.13	新型コロナウイルスに挑む国際保健医療協力
7	2020年vol.12	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ 世界中のすべての人に健康を
8	2019年vol.11	グローバルヘルスと「医療の質」 SDGs時代の患者安全
9	2019年vol.10	保健医療が支えるTOKYO2020
10	2018年vol.9	アウトブレイクから人々を守る 感染症健康危機管理
11	2018年vol.8	誰ひとり取り残さない 持続可能な開発目標-SDGs-で社会を変える
12	2017年vol.7	コミュニティの力で健康をつくる 国際保健と地域保健の共通点
13	2017年vol.6	NCGMの何が国際なのか グローバルヘルスの岐路と新たなニーズ
14	2016年vol.5	医療の国際展開 途上国支援の新しいアプローチ
15	2016年vol.4	院内感染を防ぐ 途上国にもウイルスや細菌に負けない病院を
16	2015年vol.3	研究とフィールド調査 途上国を歩いて課題解決の鍵を探る
17	2015年vol.2	新しい命の 28 日間 途上国で挑戦する新生児ケア
18	2015年vol.1	国際機関 世界を助けるお金の活かし方
19	2014年秋号	ラオス 子どもの笑顔から始まる未来
20	2014年夏号	お母さんの声が聴きたい 安心して赤ちゃんが産める地域づくり
21	2014年春号	ジェンダーギャップ NEWSLETTER世界の片隅で女性を生きる
22	2014年冬号	病院から青空の下へ 地域とつなぐ HIV 治療
23	2013年秋号	看ることと育てることと 国際看護師
24	2013年夏号	5S整理・整頓で幸せになる！
25	2013年春号	国づくりは、人づくり～ 開発途上国の保健医療人材が育つために～
26	2013年冬号	ワクチン 命を守るクスリ
27	2012年夏秋 合併号	MDGs 期限まで3年世界は変わったか？
28	2012年春号	東日本大震災 宮城県東松島市で復旧・復興支援を続けて
29	2012年冬号	創立25周年記念特別編集号 国際保健医療協力活動の軌跡と展望
30	2011年秋号	グローバル・ヘルス なぜ開発途上国の健康問題を考えるの？
31	2011年夏号	国際医療協力部における 東日本大震災の復旧・復興支援活動
32	2011年春号	保健システム強化のための人材開発
33	2011年冬号	母子保健分野の国際協力
34	2010年秋号	近くなったアフリカ 感染症対策について考える
35	2010年夏号 (創刊号)	僕たちとどこか似ている国 ベトナムへの保健医療協力

※ 『NEWS LETTER』 のバックナンバーは、国際医療協力局ウェブサイト（以下 URL）から全てダウンロードできます。

<http://kyokuhp.ncgm.go.jp/library/newsletter/index.html>



【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国立国際医療研究センター国際医療協力局は、グローバルヘルス分野における専門機関として、厚生労働省、外務省、国際協力機構（JICA）等の政府・関係機関や、世界保健機関（WHO）をはじめとする国際機関、大学・研究機関・学会等のアカデミア、さらには NGO や企業等の幅広いパートナーと連携し、低中所得国における技術協力プロジェクトへの専門家派遣、国内外の保健医療人材の育成のための講座や研修の提供、国際保健医療の研究、国際会議等を通じた政策提言など、低中所得国の医療や保健衛生の向上を図るためさまざまな活動を行っています。

★本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 広報情報課

こんひろと
昆 弘人

〒162-8655

東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL : 03-3202-7181（代表）内線：2744

E-mail : koho@it.ncgm.go.jp

<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/index.html>